

3月31日の日本株の急落について

トランプ米政権の関税引き上げへの警戒感強まる

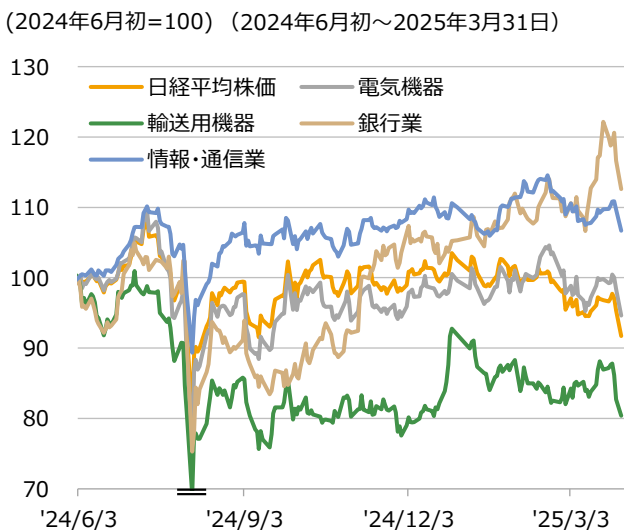
2025年3月31日

引き続き良好な需給環境が下支えし日本株は堅調に推移すると想定

3月31日の日経平均株価は前場引け時点で前週末比1,429円（3.8%）下落と大幅安となっています。トランプ米大統領が関税の賦課をこれ以上遅らせるつもりはないとあらためて明言したことなどが嫌気され、先週末に米国株が大幅安となりました。これを受けて週明けの日本の株式市場も急落しています。先週の前半に米国の関税政策に関して楽観的な見通しが広がっていたことも下げ幅を大きくしたと思われます。

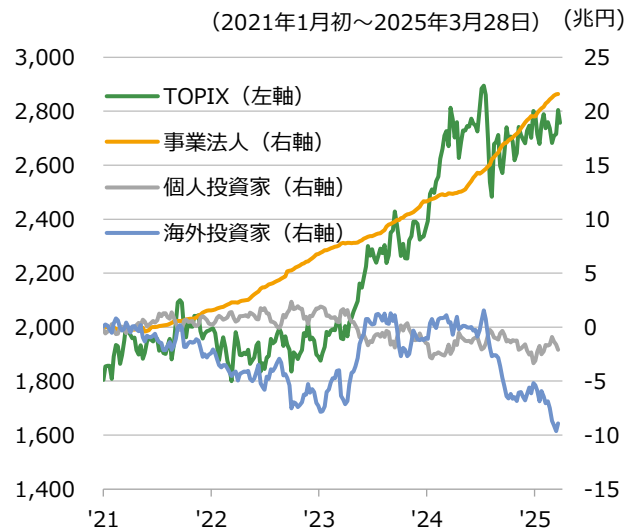
日本株は、例年4月には新年度入り後の金融機関の益出しと見られる売りで需給が一時的に悪化しやすいほか、3月期決算企業の自社株買いが手控えられる傾向もあり、一時的に調整しやすい季節性が影響している可能性があります。また、関税などトランプ米政権の政策への懸念や円安効果の一巡もあり、4月後半から発表される3月期企業決算の2025年度業績予想が慎重な見通しとなる可能性への警戒感もあります。米国の関税引き上げについては今が一番不透明感が強い状況であり、今週の発表で詳細が明らかになると徐々に不透明感は解消されていくと想定しているほか、例年4月以降は米国株は上昇しやすい季節性もあります。また、日本経済は春闘の賃上げ率が昨年に続き高い水準となるなど物価低迷局面を脱しており、内需企業の業績拡大が期待されるほか、株主還元への拡大傾向の継続も期待される状況にあります。引き続き良好な需給環境が株価を下支えし、過度に悲観的な見方は徐々に後退すると見えています。

日経平均株価と東証業種別株価指数



※2025年3月31日は前場まで
(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

TOPIXと投資部門別売買金額累計



※現物と主要な先物取引（ミニ先物を含む）の売買金額の累計、売買金額累計は2025年3月21日の週まで。週次データ
(出所) ブルームバーグ、QUICKより大和アセット作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。